

# 南養だより

北海道南幌養護学校

〒069-0232

空知郡南幌町緑町5丁目1-1

TEL 011-378-2313

2023年7月27日発行

No.2

## 「小学部の紹介」

今年度の小学部は新入生12名、転入生2名を迎え、昨年度より5名多い62名のスタートとなりました。子ども達は元気いっぱい、より一層活気に溢れ賑やかに毎日過ごしています。学級やブロックの新しい環境にも少しずつ慣れ、友達同士の関わりが増えてきたり、自分で考えて行動したりする姿が見られるようになってきました。今年度は活動の制限が5月より緩和され、公園など外での活動も増えてきました。児童の実態や課題に応じながら、いろいろな学習や経験を積んでいきたいと思っています。参観日や行事等で、子ども達の成長を実際に見ていただきたいと思います。(文責：石田 佳恵)



## 「小学部運動会を終えて」

6月23日(金)、小学部運動会が開催されました。数日前から天気が心配されていましたが、北海道の初夏らしい天候の下、グラウンドで実施することができました。

徒競走では全員がゴールを目指して精一杯走り、リズムでは「あおきいろ」を色とりどりのポンポンを持ってみんなで可愛らしい振り付けで踊りました。

低学年の団体競技では、1年生と2年生が「おはないっばいきょうそう」に取り組み、中学年・高学年の団体競技「おべんとうをつくろう」では、学年を超えたペアを組んで協力しながらお弁当を完成させることができました。

ご家族をはじめ、多くの観客の皆さんに見守られながら、日頃の練習の成果を発揮し、取り組むことができました。たくさんの応援、ありがとうございました。(文責：坂本 恵)



### ～行事予定(2学期)～

8月22日(火曜日): 始業式

8月31日(木曜日)～ 9月 1日(金曜日): 小学部5年生宿泊研修(札幌方面)

9月 7日(木曜日)～ 9月 8日(金曜日): 小学部6年生見学旅行(登別方面)

9月21日(木曜日)～ 9月22日(金曜日): 中学部3年生見学旅行(旭川方面)

10月25日(水曜日)～10月27日(金曜日): 高等部3年生見学旅行(東京方面)

11月10日(金曜日): 南養祭(小学部)

11月17日(金曜日): 南養祭(中学部)

11月24日(金曜日): 工芸展(高等部)

12月22日(金曜日): 終業式

## 「中学部の紹介」

今年度の中学部は、1年生11名、2年生9名、3年生16名の計36名が在籍しています。新しい環境や友達にも慣れ、一人一人の自分らしさが見えてきています。

学習活動や行事は、コロナ禍前と同じとはいきませんが、内容等を工夫して取り組んでいます。資源回収や歩道脇の花壇の花植え、買い物学習など校地外に出る学習も増えてきました。地域の方々にも声を掛けていただいています。

学習の中では、「すてきな中学生」を目指して、自分や友達のことを知ったり、友達や人との関わり方やマナー、気持ちの伝え方などを学んだりしています。一年間の学習が終わる3月に、「みんな、すてきな中学生だね」と話せたらいいな…と思います。（文責：池田 貴子）



## 「第2回 中学部陸上記録会を終えて」

雨天延期のため、6月12日（月）の実施となりました。曇り空から一変、青空が広がり、生徒の笑顔や頑張る姿がより一層映えました。これまで毎日練習に励んできた生徒たちは、疲れが出始めていた終盤、本番が雨天延期となり、土日を挟みしっかりと充電をして当日を迎えることができました。

保護者の方々への声援にこたえようと精一杯、走り、跳び、投げ、輝く姿がとても印象的でした。前日までの記録を更新しようと高い目標を持って競技に参加する生徒。自分の歩幅で、自分の力で教師と一緒にゴールを目指す生徒。当日は、友達や保護者の方々への声援を力に変えて、記録を更新できた生徒もいました。

今年度、閉会式で、新記録を更新できた生徒を発表し、表彰する場面も設けました。記録会のような行事は、生徒自身が達成感や充実感を得やすく、周囲の大人は生徒の成長や今後の可能性を感じることでできる機会です。生徒たちは、この経験から、目には見えない心の葛藤を経て、また一段階立派な中学生となったことでしょう。来年も更なる成長を期待しています。（文責：深谷 真紀子）



## 「芸術鑑賞会を終えて」

7月12日（水）にジャンベ太鼓（西アフリカの太鼓楽器）・縄文太鼓（縄文遺跡を基に生み出されたオリジナルの太鼓楽器）の演奏家茂呂剛伸さんを招いて、中学部、小学部、高等部の順に芸術鑑賞会を行いました。当日は、茂呂さんを含め3人によるジャンベ太鼓と縄文太鼓の演奏の後、児童生徒のジャンベ太鼓の演奏体験を行いました。ジャンベ太鼓と縄文太鼓の演奏は、少人数の演奏とは思えないダイナミックで迫力があり、会場もアフリカの雰囲気になりました。児童生徒は、演奏の始まりと共に自然に体が動き、リズムをとり楽しんでいました。また、ジャンベ太鼓の演奏体験では、太鼓をたたき始めたときは不安そうにしていたのですが、すぐに太鼓の響きや振動を体感し思い思いに演奏をしていました。

今回の芸術鑑賞会をとおして、日常なかなか聞くことのできないジャンベ太鼓の演奏や演奏体験をすることができとても有意義な時間を過ごすことができました。（文責：水石 裕一）



## 「高等部の紹介」

新入生 24 名を迎え、2 年生 18 名、3 年生 25 名、合計 67 名の生徒たちが卒業後に充実した社会生活を送ることができるように日々の学習に取り組んでいます。

今年は、3 年ぶりに高等部全学年の生徒が集まり、『対面式』からスタートすることができました。また、南幌町生涯学習センター「ぼろろ」や南幌温泉での校地外学習、町内道路やふるさと物産館「ビューロー」花壇での除草や花植えなど、地域の方々の協力を得て学習を進めることができました。10 月の3 年生見学旅行も関東方面での学習の準備が進められています。

いろいろな環境や人との関わりの中で経験を積み重ね、進級・卒業時に生徒一人一人が、「楽しかった」「目標に向け頑張った」一年だったと感じることができるよう、学習を進めていきたいと思います。（文責 小西 聖彦）



## 「高2宿泊研修を終えて」

高等部2 学年は、6 月 22 日（木）から 23 日（金）の 1 泊 2 日で北広島、白老、登別方面へ宿泊研修に行ってきました。1 日目のウポポイでは、伝統芸能鑑賞会で歌や踊り、楽器の演奏を鑑賞し、アイヌ伝統料理体験では鹿肉や鮭の汁物などの料理を食べ、アイヌ文化に触れることができました。2 日目の北海道ボールパークではスタジアムツアーに参加し、ファイターズガールの案内のもと、グラウンドに入って選手と同じ目線でエスコンフィールドを体感したり、試合中に監督や選手が使っているダグアウトに入ってベンチに座って記念写真を撮影したりしました。生徒たちは貴重な経験をとおして多くのことを学び、そして心から楽しむ姿が見られました。（文責：小川 航）



## 「高等部体育大会を終えて」

7 月 7 日（金）、お天気にも恵まれ、高等部の体育大会が開催されました。生徒たちがより一層これまでの学習の成果を発揮する場となるように名称、種目などを変更して行われた今年の体育大会は、開閉会式も生徒会役員の3 年生が中心となって立派に進行してくれました。競技の前半は、短距離走と選択種目で一人一人がベストを尽くしました。後半の学年リレーでは、学年の仲間全員が力を合わせてバトンをつなぎました。保護者の皆様からの応援を励みに、多くの生徒が総練習よりも力を発揮することができ、満足感いっぱいの笑顔が見られた体育大会となりました。（文責：野上 民子）



（文責：野上 民子）